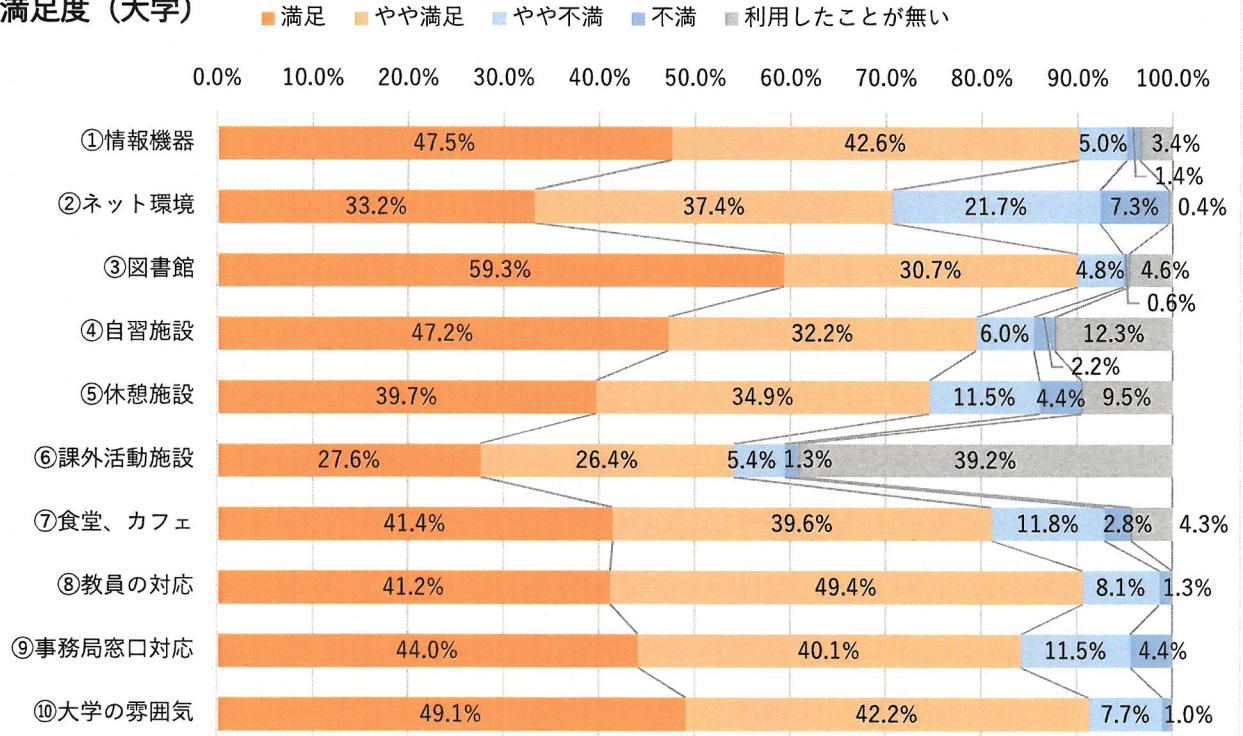


V. 大学生活 (2)

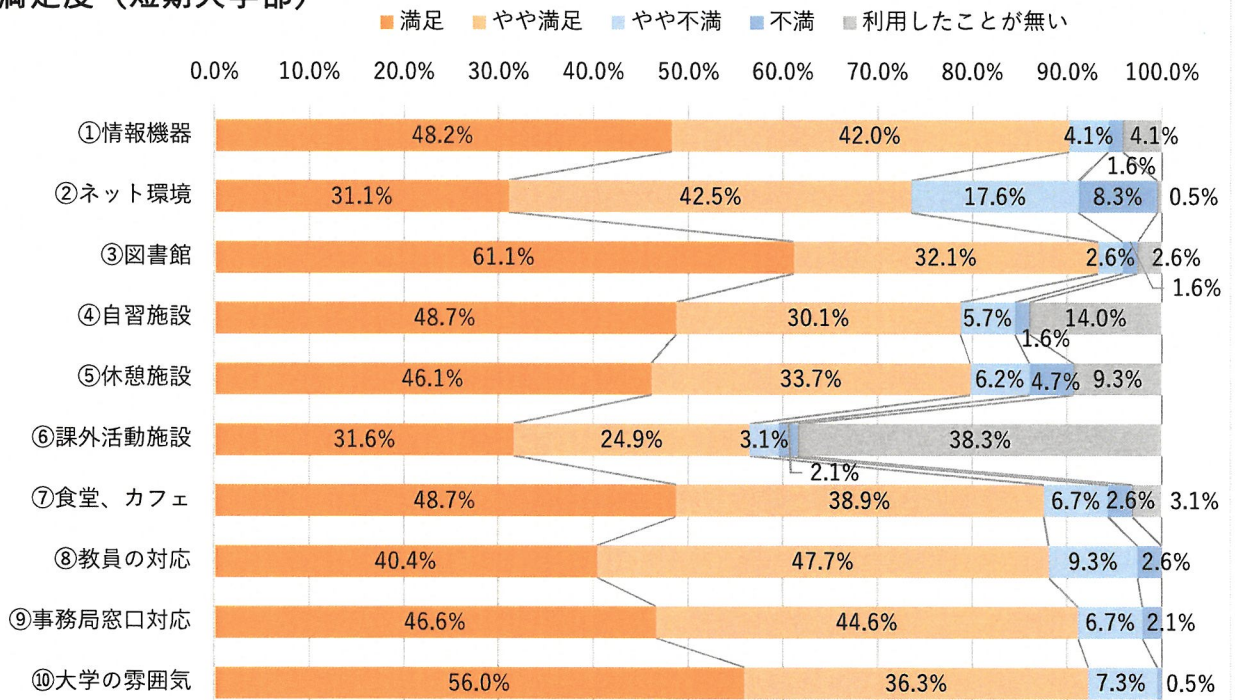
Q 2 1. 学内環境等についての満足度

学部・短期大学の学生も、「図書館」や「自習施設」をはじめとする学内設備に高い満足度を示している。そして、教職員の対応や大学の雰囲気などに対しても「満足」「やや満足」が約9割を占める。

満足度 (大学)



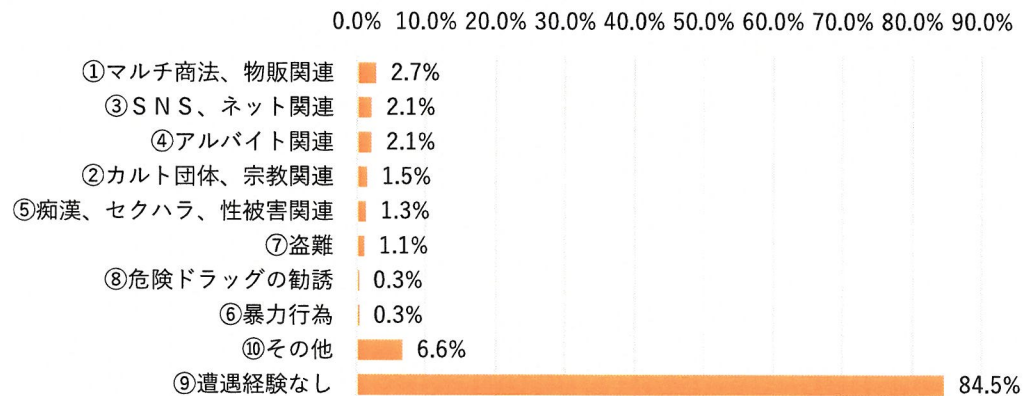
満足度 (短期大学部)



Q 2 2. 学生生活で遭遇したトラブル（複数選択可）

学生生活でトラブルに遭遇した経験がないと回答した学生が一番多く、84.5%を占めている。一方で、何らかのトラブルに遭遇した経験がある学生も少数だがいることがわかった。トラブルの具体的な内容を見ると、「マルチ商法や物販関連」は2.7%、「SNS やネット関連」と「アルバイト関連」と回答したのは同じく 2.1%を占めている。学生たちが安全な大学生活を過ごすためには定期的に注意喚起の活動を通して安全意識を高める必要があると考えられる。

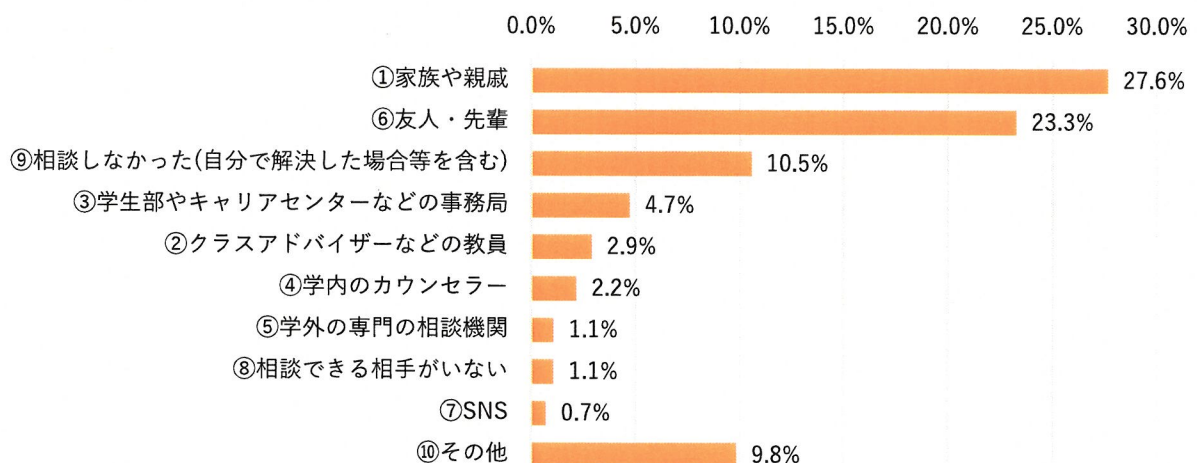
学生生活で遭遇したトラブル（複数選択可）



Q 2 3. トラブル時の相談相手（複数選択可）

学生生活でトラブルに遭遇した経験のある学生の中に、「トラブル時の相談相手」として家族や友人などに相談する学生が約半分を占めている。他に学内の教職員（事務局職員やクラスアドバイザー、学内のカウンセラー）に相談した学生は合わせて約 10%を占めて、学内のリソースを利用した学生は比較的になかった。さらに、誰にも相談しなかった学生（10.5%）や、「相談できる相手がいない」と回答した学生（1.1%）もいる。学生にとってトラブルに遭遇した時のみではなく、普段の日常生活の中で気軽に相談しやすい体制で対応していく必要があると考えられる。

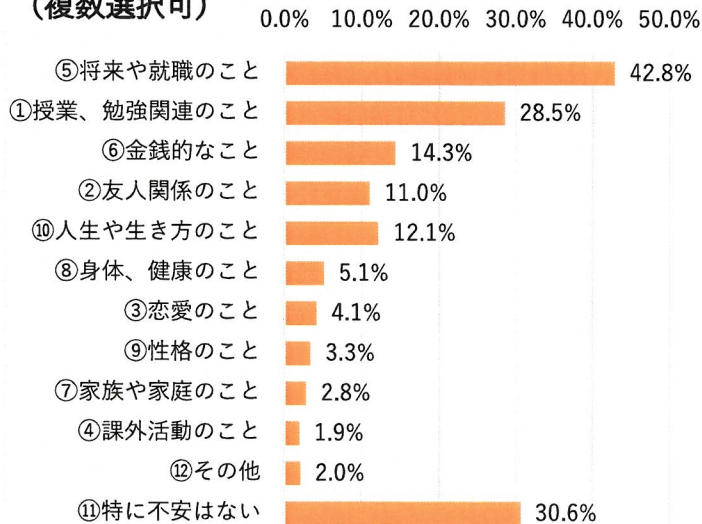
トラブル時の相談相手（複数選択可）



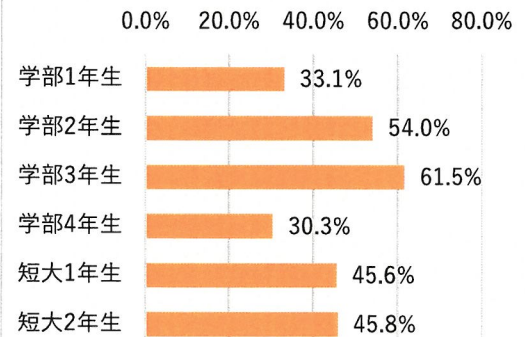
Q 2 4. 学生生活での不安や悩み事（複数選択可）

学生生活での不安や悩み事として、「将来や就職のこと」が一番多く、42.8%を占めている。回答者のうち、学部1年生（33.1%）、学部2年生（54.0%）の若い学年の学生であっても将来のことや就職に関する不安を抱えている割合は高い。そのため、低学年の学生にも自分自身の「将来の姿」をイメージしながら、大学にいる間に努力すべき目標と方向性を見つけてもらうキャリア教育が重要である。

学生生活での不安や悩みごと （複数選択可）



⑤将来や就職のこと 回答者 学年別



Q 2 5. 悩みごとの相談相手（複数選択可）

悩み事の相談相手としては、「家族や親戚」と答えた学生（54.9%）が一番多く、半分以上を占めている。その次に多いのは「友人や先輩」に相談した学生（43.5%）である。一方で、学生たちの大学生活をサポートしている「クラスアドバイザー」がいるにも関わらず、実際に「クラスアドバイザーなどの教員」に相談した学生（4%）はわずかであった。クラスアドバイザーの教員は、学生の授業を担当していない場合も、学生との関わり方の工夫、そして相談しやすい関係性を築くことが重要である。

悩みごとの相談相手（複数選択可）

